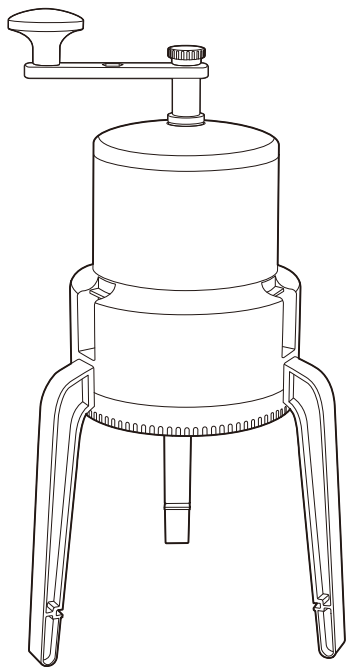


かちわり手動かき氷器 IS-D-20/IS-D-B2

取扱説明書



このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

※お客様が組み立てていただく製品となります。

も く じ

安全上のご注意	P.2
各部の名称とはたらき	P.3
準備	P.4～5
正しい使いかた	P.6～8
お手入れと保存	P.8～10
修理・サービスを依頼する前に	P.11

仕 様



品 名	かちわり手動かき氷器
型 番	IS-D-20/IS-D-B2
外形寸法	約 φ 20.8 × 高さ 37 cm (使用時)
質 量	約 0.6 kg
付 属 品	ふた付製氷カップ (Sサイズ) ×1、ブラシ×1、本体収納袋×1、取扱説明書×1

記載型番の製品取扱説明書となります。型番によって付属品が異なりますので、お使いいただいている製品と使いかたが異なる場合がありますのでご了承ください。また異なる箇所で不明点がある場合は、お客様相談室にメールでのお問合せをいただけますでしょうか。本取扱説明書は電子版のため、本紙内容と記載内容が異なる場合があります。



● 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)




図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「必ず実行すべきこと・強制」を示します。)

警告

 禁止	乳幼児だけで使わせたり、手の届くところでは使用しない。 けがの原因になります。	 指示	正しく組み立ててから使用する。 組み立て途中で使用を開始したり、パーツのみで使用すると、故障・けがの原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない。 故障・けがの原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 故障・けがの原因になります。修理は販売店またはトウジンシャお客様相談室にご相談ください。

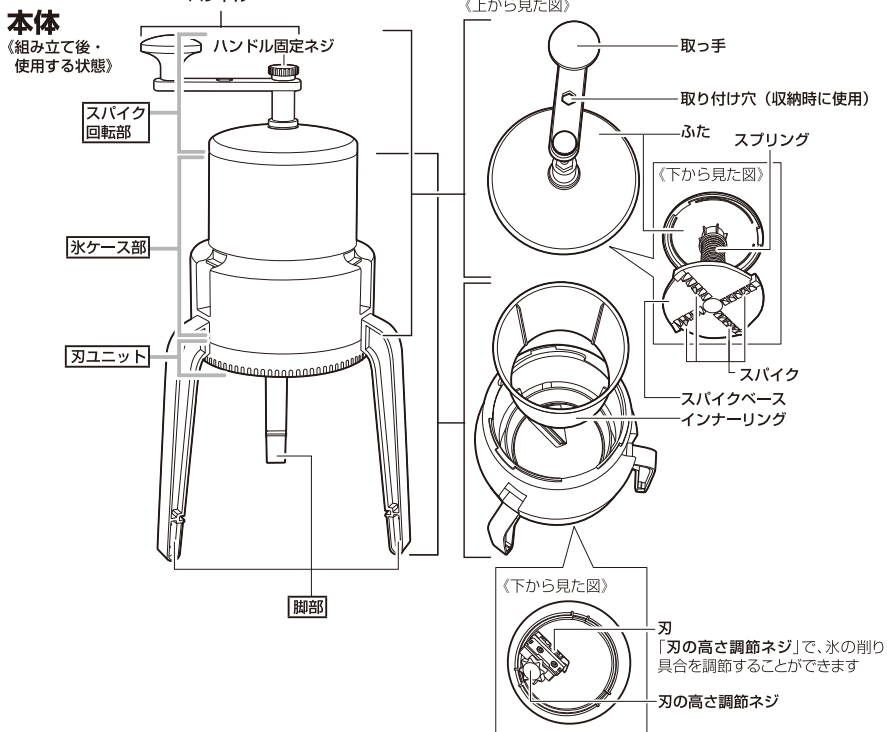
注意

 禁止	組み立てるときや、使用するとき指などはさまないように十分注意する。 鋭利な部品もあるため、けがの原因になります。	 禁止	本体・製氷カップを洗うときはお湯・食器洗浄機・食器乾燥機は使用しない。 40℃以上のお湯を使用すると、変形の原因になります。
	傾いた場所や棚などの高い場所・不安定な場所には置かない。 転倒すると本体の破損、けがの恐れがあります。		冷凍庫から出した氷をすぐに素手でふれない。 氷に皮膚が貼り付いて、皮膚がはがれるなど、けがの原因になります。
	業務用として使用しない。 製品は、家庭用として製造されているため、故障の原因になります。		スパイクや刃にふれない。 けがの原因になります。
	かき氷を作る以外には使用しない。氷ケース部には氷以外のものを入れない。 刃・スパイクなどは、かき氷専用につくられているため、他の用途に使用すると故障の原因になります。	 指示	収納袋を振り回したり、引っ張ったりしない。 破損やけがの原因になります。
	本体に変形や破損、異常箇所があるときは使用しない。 けがの原因になります。		ハンドルなどが回らない・動かないときは、無理に動かさない。 無理に動かすと、故障や破損の原因になります。
	水以外のもので作った氷を使用しない。 故障の原因になります。さらに水以外で作った氷を入れると、サビや汚れ、故障の原因になります。		製品を使用しないときは、十分に乾燥させ、刃の部分に軽く食用油を塗って、湿度の少ないところへ保存する。 サビの発生やカビが繁殖する原因になります。
お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉・金属たわしなどを使わない。 変色・変形・故障の原因になります。			

各部の名称とはたらき



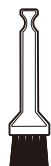
- 製品はきちんと正しく組み立てて使用する。
組み立てずに使用したり、組み立て途中で使用開始すると故障や破損、事故の原因になります。
- 製品は組み立てたあと、氷ケース部を持って移動させる。
他の部分を持ち上げたりすると、破損や故障、落下、事故の原因になります。
- ハンドルは固定ネジでしっかりと取り付け。
ハンドルを中途半端に取り付けておくと、落下して破損や事故の原因になります。



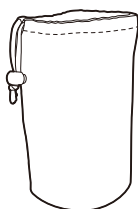
付属品



ふた付製氷カップ(Sサイズ)×1



ブラシ



本体収納袋



刃保護シート
(刃ユニット内に取付状態で出荷)

準備

本体の組み立て

1. 3本の脚部を取りはずし①、刃ユニットを反時計回しにして取りはずす②

脚部を取りはずすとき、右図矢印方向にまっすぐ取りはずしてください。間違った方向に力を加えると、破損の原因になります。

2. 《初めて使うとき》刃ユニットの内側に刃保護シートが取り付けられているので、取りはずす③

取りはずした刃保護シートは捨てないでください。収納時に再度使用します。

3. 本体（氷ケース部）を上下反対にして、手順1で取りはずした脚部を右図のように氷ケース部の円周の凹みに取り付ける④

脚部は奥まで深く取り付けてください。

4. 刃ユニットにある・マークと、氷ケース部の Δ マークを組み合わせるようにして刃ユニットを取り付け⑤、反時計回しにして固定する⑥

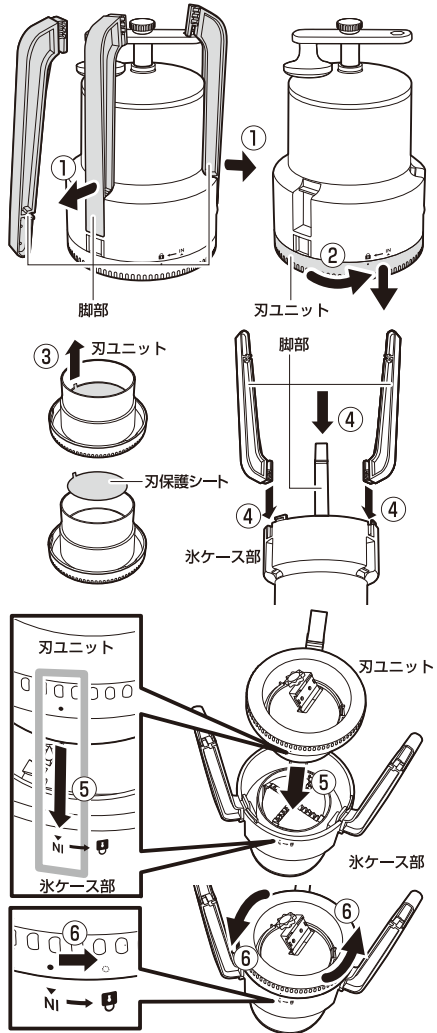
・マークを Δ マークに合わせて氷ケース部に刃ユニットを取り付け、刃ユニットを→方向に回転させて・マークと Δ マークを合わせるように固定してください。

5. 安定した場所へ移動し、本体を上下反対にして脚部で立たせる

6. ハンドル固定ネジをはずして、ハンドルを回せるように取り付けなおす

ハンドルを押さえながら、ハンドルの真ん中の穴に取り付けられているハンドル固定ネジをはずします⑦。

ハンドルを取りはずし、ハンドルの端の穴に取り付けなおし、ハンドルを押さえながら、ハンドル固定ネジを取り付けてください⑧。



《下から見た図》

購入後初めての使用のときは（もしくは長期間使用しなかったときなど）、組み立てかたがわかったら、一度逆順で分解し、すべての部品を「お手入れと保存」（8 ページ）に沿って洗ってください。

氷を作る

市販のかたい氷や市販の製氷皿で作った氷、自動製氷機能付冷蔵庫で作った氷を使用することができますが、家庭などで使用するときのために専用の製氷カップを付属しています。

1. ふた付製氷カップを十分に洗う

特に初めて製氷カップを使用するときは、十分に洗ってください。



製氷カップを洗うときはお湯、食器洗浄機、食器乾燥機を使用しない。変形などの原因になります。

2. 水を製氷カップの約8分目まで入れ、ふたをして冷凍庫に入れる

製氷カップに約8分目まで水を入れ、ふたをして冷凍庫に入れてください。



- 製氷カップに水を入れすぎない。製氷カップ破損の原因になります。
- 製氷カップには水以外のものを入れない。本体のサビや故障の原因になります。

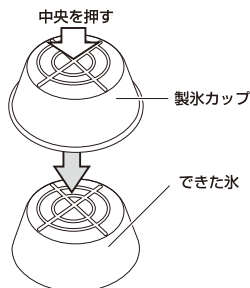
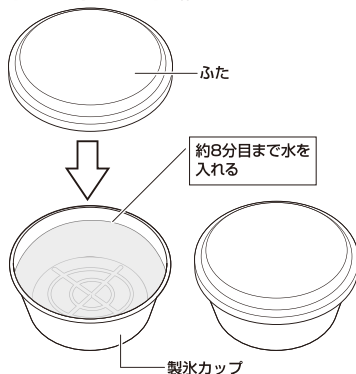
3. 水が凍ったことを確認したら、ふたをはずして氷を取り出す

使用するときは、ふたをはずして製氷カップの中央を押して、氷を取り出します。



- 冷凍庫から出した氷をすぐに素手でふれない。氷に皮膚がはりついて、皮膚がはがれるなど、けがの原因になります。
- 氷を製氷カップから取り出すときに、たたきつけたりしない。製氷カップの破損の原因になります。
- できた氷はできるだけはやく使用する。氷をストックしておくことができますが、時間が経過すると霜が付き、かき氷に適した氷ではなくなります。

製氷カップに水を入れて氷を作る



正しい使いかた

かき氷の作りかた

準備(4~5ページ)を正しく行なったことを確認の上、かき氷を作ってください。

1. 氷を受ける器を刃ユニットの下におく ①

削れた氷を受ける器を刃ユニットの下に置いておきます。

2. ふたを時計回しにして②、スパイク回転部を取りはずす③

内部に取り付けてある、インナーリングはそのまましておきます。

3. 氷ケース部に氷を入れる ④⑤

水で作った氷専用です。水以外のもので作った氷は使用しないでください。

製氷カップの氷の場合

製氷カップで作った氷の横をつかんで、氷ケースに入れてください④。

冷凍庫から出してすぐの氷では、おいしいかき氷はできません。氷の表面が少しとけた状態の氷を使用してください。

・平らな面を下に、十字の模様のある面を上にして氷ケース部に入れます。

市販のかたい氷などのバラ氷の場合

氷ケース内、下から約半分の高さを確認し、その高さまで氷を入れてください⑤。

・氷の大小を組み合わせ、ある程度均一に入れるようにしてください。



- ・冷凍庫から出した氷をすぐに素手でふれない。氷に皮膚がはりついて、皮膚がはがれるなど、けがの原因になります。
- ・氷ケース部には氷以外のものは入れない。

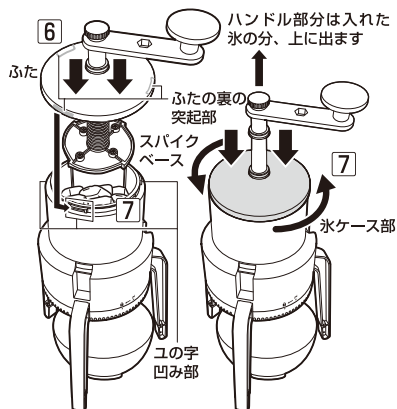
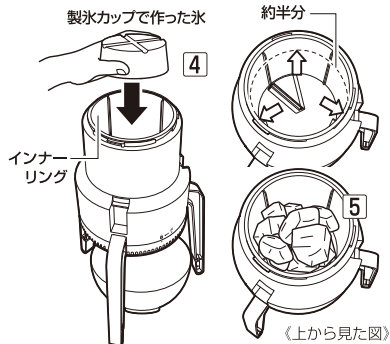
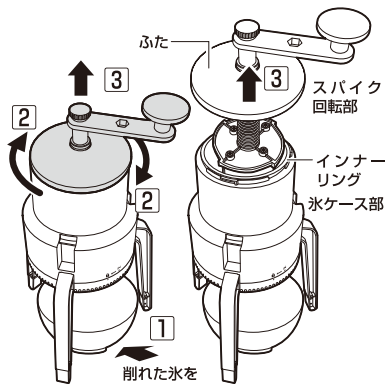
4. スパイクベースを氷に当て⑥、ふたを氷ケース部に近づけ、ふたを反時計回しにして取り付ける⑦

スパイクを氷にくい込ませ、ふたを押し込みながら、ふたを氷ケース部に取り付けます。

※ふたが取り付けられないときは、内部に入れた氷の量を加減して、取り付けなおしてください。



ふたの裏の突起部と氷ケース部の上部の形状を確認して確実に取り付ける⑦。ふたの裏側にある3つの突起部と、氷ケース部上部に3つあるユの字の凹みを組み合わせるように取り付けてください。



《バラ氷の場合》

刃の高さ調節のしかた ⑧

氷を削る刃の高さを調節して、氷の削り具合を変えることができます。

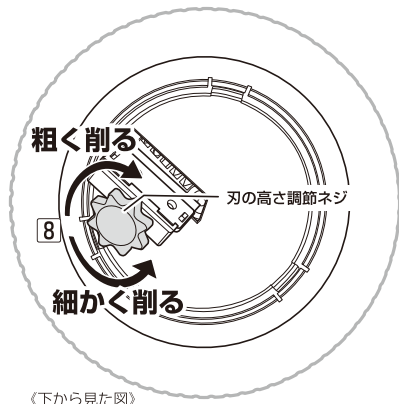
- 刃ユニット下にある刃の高さ調節ネジを回して調節します。
- 刃の高さ調節ネジは、刃ユニット下側から見て反時計回しがより細かく、時計回しがより粗くするように調節できます。

始めるときは刃の高さ調節ネジを反時計回しにして一番下まで下げ、少しずつ時計回しにして調節してください。

※一度調節しても氷の状態によって氷の削り具合は変わりますので、毎回調節してください。

⚠注意

- 必ず細かい削りから始める。
粗い削りから始めると、刃をいためる原因になります。
- 刃の高さ調節ネジを無理に回さない。
刃の高さ調節ネジが動かなくなるところより、無理に回さないでください。故障の原因になります。



《下から見た図》

5. 本体底面の刃の高さ調節ネジを反時計回しにして、一番刃の出ていない状態にする ⑧

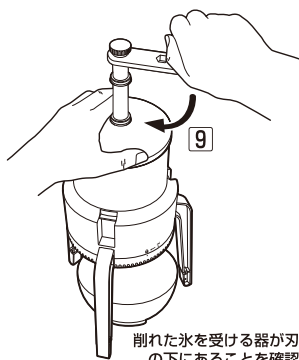
6. ハンドルを時計回しにして、氷を削り、刃の高さ調節ネジで削り具合を調節する ⑨

刃の下に削れた氷を受ける器があることを確認し、本体上部(ふた・氷ケース部)を押さえ、ハンドルを時計回しにすると、内部の氷が回転して、氷の下にある刃が氷を削ります(使用例・右図)。

「刃の高さ調節のしかた」をお読みにになり、刃の高さ調節ネジを反時計回しにして一番刃の出していない状態から削り始め、順次、刃を出して削り具合を調節してください。

- 内部に大量の氷があっても削れないときは、一度ふたをはずして内部の氷の位置を均一にし、再度ふたを取り付けて、削ってください。
- 反時計回しでは、氷を削ることはできません。

《使用例》



正しい使いかた (つづき)

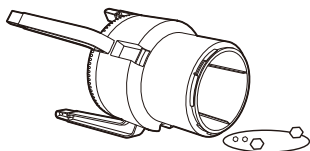
7. 削れた氷が出なくなったら、ふたをはずして、残った氷を取り出す

氷は最後まで削れずに、スパイクと刃ユニットの間の分量が少し残ります。

残った氷を捨て、続けて氷を削るには、最初に戻って(「正しい使いかた」6ページ)、繰り返してください。

8. 使用後は、必ずお手入れをする

「お手入れと保存」に従ってお手入れをしてから保存してください。



- 残った氷は使用しない。
残った氷の上に新しい氷を置いたりして残った氷を使うことはしないでください。
- 刃やスパイクには十分注意する。
けがの原因になりますので、刃やスパイクにふれないように十分に注意してください。
- 氷を取り除くときには、素手では行わない。
氷ケース部、刃ユニットに残った氷を取り除くとき、素手で行なうと、刃やスパイクにふれ、けがの原因になります。ヘラや箸などを使用してください。

お手入れと保存

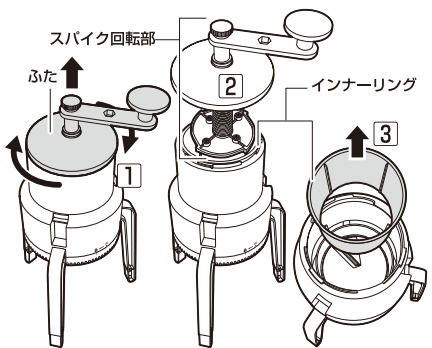
お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属たわしなどは絶対に使わないでください。
- 刃やスパイクにはふれないように十分に注意してください。

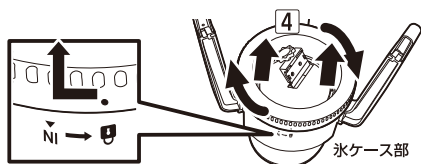
分解のしかた

1. ふたを時計回しにして①、ふたを取りはずし②、内部からインナーリングを取りはずす③
2. そのままひっくり返して、テーブルの上などに置き、刃ユニットを時計回しにして取りはずす④

刃ユニットを時計回しにして、止まったところから持ち上げると、刃ユニットを取りはずすことができます。



《上から見た図》



《下から見た図》

3. 刃ユニットをはずしたら、脚部3本をそれぞれ取りはずす⑤

- ・刃ユニットは分解できません。
- ・スパイク回転部はハンドルのみ分解できます。

4. 分解後、紛失に気を付けてすべてを洗い、水を切って、十分に乾燥させる

※「お手入れと保存」(10 ページ)

分解を終えると以下のパーツになります。

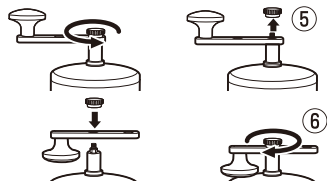
パーツ名	個数	パーツ名	個数
氷ケース部	1	刃ユニット	1
ハンドル	1	脚部	3
インナーリング	1	ハンドル固定ネジ	1
スパイク回転部	1	刃保護シート	1

収納時組み立てのしかた

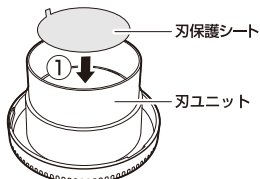
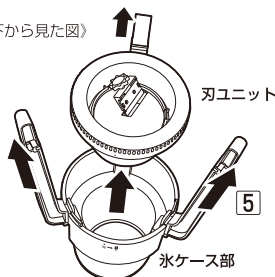
1. お手入れし、十分乾燥させたあと、刃ユニットの刃の上に刃保護シートを取り付ける①
2. 右図のように氷ケース部に刃ユニットを取り付ける②
3. そのままひっくり返して、右下図のようにインナーリング③とスパイク回転部を取り付ける④
4. ハンドル固定ネジをはずして⑤、ハンドルを真ん中に取り付けなおす⑥

ハンドルを押さえながら、ハンドルの端の穴に取り付けられているハンドル固定ネジをはずします⑤。

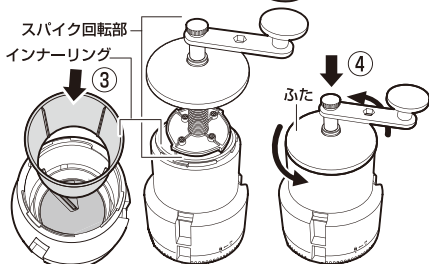
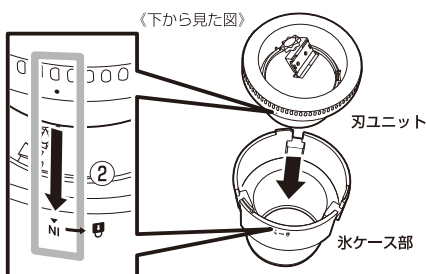
ハンドルを取りはずし、ハンドルを図のように取り付けなおし、ハンドルを押さえながら、ハンドル固定ネジを取り付けてください⑥。



《下から見た図》



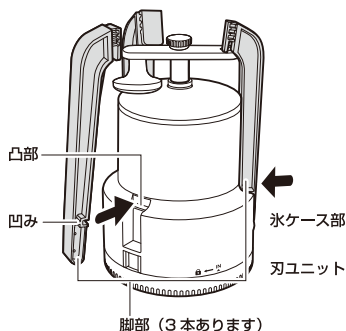
《下から見た図》



《上から見た図》

お手入れと保存 (つづき)

5. 右図のように、3本の脚部を氷ケース部の3方向から脚部にある凹みと本体側の凸部を組み合わせて取り付ける

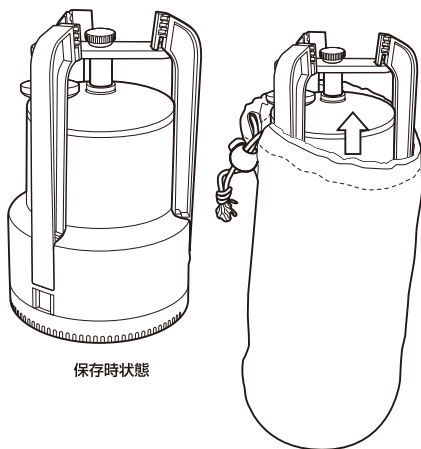


6. すべてパーツがまとまった状態で、付属の収納袋に入れて保存する

付属の収納袋は、製品全体を入れることができます。収納袋に入れたあと、ホコリが付かないように、ひもを引いて口を締めて保存してください。

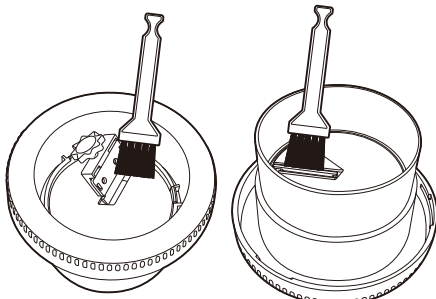


注意 収納袋を振り回したり、引っ張ったりしない。
破損やけがの原因になります。



お手入れのしかた

- やわらかいスポンジを使用し、水またはお湯で食器用中性洗剤(柑橘系を除く)を薄めたものを使って洗い、流水で十分にすすいでください。
- 汚れが落ちにくいときは、水またはお湯で食器用中性洗剤を薄めたものに浸し、10分程度経過してから洗うと効果的です。
- 完全に乾燥させた上で、乳幼児の手の届かない、安全な場所に保存してください。
- 刃の部分は、付属のブラシでお手入れしてください。乾燥後、サビの防止のため、両面(氷ケース側・刃の高さ調節ネジ側)を軽く食用油を塗っておいてください。
- 本体収納袋は洗濯できません。ぬらしてかたくしぼった布でふき取ってください。



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
氷が削れない	刃が細かく削る状態になっていて氷にかからない	調節ネジを回して、少しずつ粗く削るように刃の高さを変える
	氷ケース内部に削れた氷が残っている	残った氷は捨ててください(8ページ)
	製氷カップで作った氷が平面になっていない、または氷が刃に当たらない	平面のある氷を使用する、または氷を多少溶かして、平面に近い状態にしてから使用する
	氷が氷ケース内でひっかかっている	箸などで氷をかきまわしてください
	スパイクが空回りしている	ふたをはずして、何度か氷の入り具合を調節し、スパイクを突き立てるようにして氷が回るようにする
	インナーリングを取り付け忘れている	インナーリングを取り付ける
ふたが取り付けられない	氷が多すぎる	氷の量を調節する
ハンドルや回転軸がカタカタ動いたり、きしみ音がする	故障ではありません	そのままご使用ください
氷を削るときに安定しない	脚部がすべて接地していない	<ul style="list-style-type: none"> ・3本の脚部が氷ケース部に正しく取り付いているか確認してください ・水平で安定した場所でお使いください
	氷がひっかかる	氷ケース内部の氷の量を調節する(一定に氷を削るには、付属のふた付製氷カップで作った氷を使用してください)

お問い合わせ

お客様サポート

<https://www.do-cooking.com/support/>



製品情報に関するお問い合わせ

よくあるご質問

製品・パーツ購入のご案内

※製品によっては、パーツ販売をしておりません。

お客様の声(アンケート)

【電話でのお問い合わせ】

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、弊社お客様相談室までご連絡ください。

 株式会社ドウシシャ www.doshisha.co.jp

お客様相談室 **0120-104-481**

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※製品名、型番をご確認の上、お電話を頂きますようお願い致します。

※お電話を頂いた際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

【修理品の送付先】

〒556-0023

大阪市浪速区稲荷1-6

株式会社ドウシシャ
サービスセンター

D210801

MADE IN CHINA